

シラバス詳細

タイトル「2023年度」、カテゴリ「教養教育科目」

和文・英文ボタンを押すことで、和文↔英文の切り替えができます。

和文 英文

医学部のシラバスはこちらから。
医学系研究科博士課程のシラバスはこちらから。

科目情報

コースナンバリング

1-000x000

科目名

キャリアデザイン

開講学期

後期

開講時期

3クォータ

曜日・校時

水 3

単位数

< BACK

講義情報

学士力番号

1 - (1)

曜/限追記

水/3

講義形式

授業は講義を主体として適宜グループワークやワークショップ形式で実施する。

講義概要

授業を通して、キャリアデザインについての基本的な知識を習得し、学生一人ひとりのキャリアオーナーシップの獲得を目指す。

授業では、多様なキャリアのゲスト（佐賀大学卒業生をはじめ多様な方々）を招聘し、異なる職種におけるキャリア形成と、実践的な能力を身に付けるための学修の計画や行動のモデルを示す。この授業を通じて、自分自身で納得のいくキャリアをデザインしていくことができる人材となることを期待する。

開講意図

キャリアや就職活動に関する様々な情報があふれる現代社会において、情報に惑わされることなく、自分自身の価値観やビジョンを確立し、生涯にわたりキャリアをデザインしていける力を身につける。

到達目標

1. 他者のキャリアについて、キャリア理論をフレームワークに分析することができる。
2. 他者のキャリア（ストーリー）から、簡潔に（80字程度で）教訓を導出することができる。

履修上の注意

授業は対面で実施します。また、授業に関する連絡事項等の伝達は授業中及びTeamsを活用して行います。授業1回目のガイダンスにてTeamsコードなどを伝えますので、参加してください。

出席回数やリフレクションシートの提出状況などについての個別の問い合わせには、原則対応しませんので各自で管理してください。

1. 時間厳守（授業の開始時間、提出物の提出期限を守ること）。

3. コミュニケーションの障がいとなるため、カバンは膝の上に抱えず、床に置くか、椅子に掛けること。
 4. 授業中の食事は禁止。飲料の摂取は可能。

授業計画

回	内容	授業以外の学習 本科目は、単位数×45時間の学修が必要な内容で構成されています。授業として実施する学修の他に、授業の内容を深めるために以下の事前・事後学修が必要です。
1	10/4:ガイダンス（授業の予定）と講和を聞くためのフレームワークの獲得 講師：佐賀大学キャリアセンター 山内 講師実施形態：対面 学生参加形態：対面	Teamsへの参加登録・利用確認
2	10/11:タイトル未定 講師：未定 講師実施形態：未定 学生参加形態：対面	1) リフレクションシートの記入・提出 授業の内容について考えたこと、感じたことなどをまとめ記述すること（MS-Formsで提出）
3	10/18:タイトル未定 講師：池田 亮 氏（名村造船所） 講師実施形態：未定 学生参加形態：対面	1) リフレクションシートの記入・提出 授業の内容について考えたこと、感じたことなどをまとめ記述すること（MS-Formsで提出）
4	10/25:タイトル未定 講師：未定 講師実施形態：未定 学生参加形態：対面	1) リフレクションシートの記入・提出 授業の内容について考えたこと、感じたことなどをまとめ記述すること（MS-Formsで提出）
5	11/1:タイトル未定 講師：木下 友宏 氏（株式会社カンパニオ代表取締役） 講師実施形態：オンライン（Zoom） 学生参加形態：対面	1) リフレクションシートの記入・提出 授業の内容について考えたこと、感じたことなどをまとめ記述すること（MS-Formsで提出）
6	11/8:タイトル未定 講師：未定 講師実施形態：未定 学生参加形態：対面	1) リフレクションシートの記入・提出 授業の内容について考えたこと、感じたことなどをまとめ記述すること（MS-Formsで提出）
7	11/15:中間期のリフレクション 講師：佐賀大学キャリアセンター 山内 講師実施形態：対面 学生参加形態：対面	1) リフレクションシートの記入・提出 授業の内容について考えたこと、感じたことなどをまとめ記述すること（MS-Formsで提出）
8	11/22:タイトル未定	1) リフレクションシートの記入・提出

回	内容	<p style="text-align: right;">↑</p> <p style="text-align: right;">授業以外の学習</p> <p style="text-align: right;">本科目は、単位数×45時間の学修が必要な内容で構成されています。授業として実施する学修の他に、授業の内容を深めるために以下の事前・事後学修が必要です。</p>
	講師実施形態：未定 学生参加形態：対面	などをまとめ記述すること（MS-Formsで提出）
9	11/29:タイトル未定 講師：未定 講師実施形態：未定 学生参加形態：対面	1) リフレクションシートの記入・提出 授業の内容について考えたこと、感じたことなどをまとめ記述すること（MS-Formsで提出）
10	12/6:タイトル未定 講師：未定 講師実施形態：未定 学生参加形態：対面	1) リフレクションシートの記入・提出 授業の内容について考えたこと、感じたことなどをまとめ記述すること（MS-Formsで提出）
11	12/13:タイトル未定 講師：未定 講師実施形態：未定 学生参加形態：対面	1) リフレクションシートの記入・提出 授業の内容について考えたこと、感じたことなどをまとめ記述すること（MS-Formsで提出）
12	1/10:タイトル未定 講師：未定 講師実施形態：未定 学生参加形態：対面	1) リフレクションシートの記入・提出 授業の内容について考えたこと、感じたことなどをまとめ記述すること（MS-Formsで提出）
13	1/17:タイトル未定 講師：未定 講師実施形態：未定 学生参加形態：対面	1) リフレクションシートの記入・提出 授業の内容について考えたこと、感じたことなどをまとめ記述すること（MS-Formsで提出）
14	1/24:タイトル未定 講師：未定 講師実施形態：未定 学生参加形態：対面	1) リフレクションシートの記入・提出 授業の内容について考えたこと、感じたことなどをまとめ記述すること（MS-Formsで提出）
15	1/31:半期の授業の振り返り 講師：山内（佐賀大学キャリアセンター） 講師実施形態：対面 学生参加形態：対面	1) 学びの総括シートの記入 これまでの授業での学びなどをまとめ記述すること（MS-Formsで提出）

成績評価の方法と基準

BACK

【注意】成績評価のための基本的要件について

成績評価にあたっては、原則として以下の事項を満たす必要があります。

1) 2分の2以上の出席

* 授業当日以外の出席管理システムデータの修正は行いません。

【成績評価の方法】

1. リフレクションシート・・・84点（6点×14回）・・・到達目標1に対応
点数については、指定された項目の文字数をカウントして点数化する。

2. 学びの総括シート・・・16点・・・到達目標2に対応
点数については、指定された項目の文字数をカウントして点数化する。

3. 授業時間外の指定のイベント等への参加
指示された課題を提出することで加点する

それぞれの様式および提出期限については、授業内で明示する。なお、提出期限を過ぎた場合には、提出を受け付けないので注意すること。

開示する成績評価の根拠資料等

成績評価に関する資料

開示方法

開示希望学生は、担当教員に連絡し調整する

教科書

資料名		版
著者名	発行所名・発行者名	出版年
備考（巻冊：上下等）		ISBN
教科書は使用しない。必要に応じて資料等を配布する。		

オフィスアワー

水曜4限の時間に実施する。オフィスアワーへの参加を希望する学生は事前にアポイントを取ること。

アクティブラーニング導入状況

カテゴリ4	カテゴリ3	カテゴリ2	カテゴリ1	カテゴリ0
<p>学生が自ら主体となって、学習の方向性を定め、問題解決に導くための時間です。PROBLEM BASED LEARNING</p>	<p>グループや個人で行った能動的学習の成果を、教室内外で発表し、その評価を受けたり、質問に対応したりすることにより、学修した内容を深化させるための時間です。OUTPUT</p>	<p>学生自らが自由に発言し、グループやペアでの協働活動により課題に取り組み、何らかの帰結に到達するための能動的学習の時間です。INTERACTION</p>	<p>学生からの自由な発言機会はないものの、授業時間中に得られた知識や技能を自ら運用して、問題を解いたり、課題に取り組んだり、授業の振り返りをしたりする能動的学習を行う時間です。ACTION</p>	<p>基本的に学生は着席のまま、講義を聞き、ノートを取り、知識や技能を習得に努める時間です。INPUT</p>
0	20	30	30	20